



沖公評第107号
平成28年4月25日

沖縄県知事 殿

沖縄県公共事業
評価監視委員会
委員長 鹿内



平成27年度 公共事業評価について（答申）

平成27年9月25日付け沖縄県諮問土第3号及び平成27年12月28日付け沖縄県諮問土第5号で諮問のあったみだしのことについては、下記のとおり答申します。

なお、事業の継続にあたっては、意見について十分留意していただくよう要望します。

記

1 審議結果

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| (1) 都市計画道路3・2・13号南風原中央線街路事業 | : 事業継続は妥当である。 |
| (2) 一般県道具志川環状線道路改築事業 | : 事業継続は妥当である。 |
| (3) 南部東道路（南風原知念線道路改築事業） | : 事業継続は妥当である。 |
| (4) 石垣新川河川改修事業 | : 事業継続は妥当である。 |
| (5) 白比川河川改修事業 | : 事業継続は妥当である。 |
| (6) 石川河川改修事業 | : 事業継続は妥当である。 |
| (7) 西屋部川河川改修事業 | : 事業継続は妥当である。 |
| (8) 我部祖河川河川改修事業 | : 事業継続は妥当である。 |
| (9) 沖縄都市モノレール延長整備事業 | : 事業継続は妥当である。 |
| (10) 安和与那川砂防事業 | : 事業継続は妥当である。 |
| (11) 本部港（本部地区）港湾改修事業 | : 事業継続は妥当である。 |
| (12) 中城湾南部流域下水道事業（西原処理区） | : 事業継続は妥当である。 |

2 意見

(1) 都市計画道路3・2・13号南風原中央線街路事業（再評価）

- ・児童生徒の通学路については、自転車が通行する際の安全通行に配慮した歩道にしてもらいたい。

(2) 一般県道具志川環状線道路改築事業（再々評価）

- ・人口規模に対してどれだけ渋滞緩和されるのか等の効果の検証をしてもらいたい。

(3) 南部東道路（南風原知念線道路改築事業）（再々評価）

- ・道路の効果をより高めるために周辺を含めた体系的な整備をしてもらいたい。

(4) 石垣新川河川改修事業（4回目再評価）

- ・河道拡幅しても維持管理しないと土砂が堆積して流量を阻害する。定期的な維持管理をしてほしい。
- ・事業が長期間になるため、定期的に動植物相の調査を行い、基礎的なデータを集積して環境面への影響を確認してほしい。
- ・浸水被害への便益だけでなく、環境面に関する便益もB/Cの算定に入れることを検討してもらいたい。

(5) 白比川河川改修事業（再々評価）

- ・北谷は観光地としてまだまだ延びる地域だと思うので、美観や景観に配慮したデザインにしてほしい。
- ・自然環境への調査確認、記録化などを行い、環境配慮型の河川改修をしてもらいたい。特に汽水性の動植物の生息範囲の調査を行って頂きたい。

(6) 石川河川改修事業（3回目再評価）

- ・マングローブの自生範囲は想定することはできなかったのか。伐木しなければ改修の効果が得られない理由を説明してもらいたい。
- ・上流から流れてくるゴミ等が、最小限に残したマングローブにひっかかる事で堰を作ってしまう氾濫することはないのか。河積計算の考え方を示してほしい。

(7) 西屋部川河川改修事業（再々評価）

- ・地域性を考慮してコスト削減を検討してほしい。
- ・動植物相の調査を定期的に行いながら事業を進めて頂きたい。

(8) 我部祖河川河川改修事業（3回目再評価）

- ・ B/Cが前回の評価から大きく変化した事業は、詳細な説明をしてもらいたい。
- ・ 整備後にも環境調査を実施し、データを収集しなければ環境に優しい河川整備という評価は得にくい。環境に関する調査を検討してもらいたい。

(9) 沖縄都市モノレール延長整備事業（再評価）

- ・ 延長区間の途中駅周辺に駐車場整備は予定しているのか。モノレールを利用していない人は駅周辺に駐車場が無いという問題がある。
- ・ 延長区間については観光客の割合は少ないと思う。観光客の利用はどのように見積もられているのか。
- ・ 最終駅のてだこ浦西駅では、モノレール利用者が北部へ移動する為にレンタカーを借りる場所がないといけない。

(10) 安和与那川砂防事業（再評価）

- ・ 完成している砂防ダムの維持管理を健全に行い、今後も連携して流域を整備していただきたい。
- ・ 近くに採石場があるため、今後は流域面積の中で開発が行われることも見込んだ整備を検討してほしい。

(11) 本部港（本部地区）港湾改修事業（3回目再評価）

- ・ 便益の算定について、現在、沖縄本島に寄港するクルーズ船は増えているが、将来、本部港へのクルーズ船寄港回数をどの程度見込んでいるのか。
- ・ 貨物量が減少しているなか、岸壁を改良して大型船の受入れを可能とするというのは無理があるのではないか。そこは、耐震岸壁も整備されていることから、防災という役目も考慮して精査していただきたい。
- ・ 台風は今後も大型化が予想されている。工事途中の台風には十分対策を行い、手戻り工事は避けていただきたい。

(12) 中城湾南部流域下水道事業（西原処理区）（再々評価）

- ・ 「沖縄汚水再生ちゅら水プラン」の内容を詳細に示し、代替案は有るが公共下水道で整備していくことが最善であることを調書に記載してもらいたい。
- ・ 計画処理人口が減少している中で事業区域が拡大している。採算性はあるのか。